

大分教育事務所訪問 64

大分市立明治小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「平和を愛し、豊かな心と健やかな体を持ち、主体的に考え行動する子どもの育成」を達成するために、めざす子ども像を「考える子(知)」「助け合う子(徳)」「たくましい子(体)」として、4部会を中心に取り組んでいます。

また、職員としての心得を

- ・教職員としての誇りを持ち、奢ることなく、謙虚に、常に感謝の心をもって
- ・来客者や電話対応はおもてなしの心で
- ・「おはよう・ありがとう・ごめんなさい」が自然に言える職場に
- ・健康第一 自分も家族も大切に

と定めています。我々が訪問をした際も、とても気持ちの良い挨拶のおもてなしを受けました。

そのような、教職員の率先垂範の姿から、児童会のスローガンは「おもいやり一番！明治小～明治0チャレンジ～」として、「ありがとう」を大切に、感謝や譲り合いを目標としています。校内の掲示物などからも優しさを感じます。まさに、教職員と児童が一体となって、「明日も来なくなる学校」を目指しています。

今後は、それぞれの取組が、子ども達に「どのような力（資質・能力の3本柱）をつけるかを明確にし、そのことを子ども達も含めて共通理解を図ることで、より確かな学力の定着・向上、人を思いやる心や体力・健康づくりができると思いました。

授業から学ぶ

参観したどの教室でも、子どもに自己決定の場を保障し、子どもの声を生かしながら授業をすすめていました。また、自然と学び合ったり、友達のつぶやきにうなずいたりする等、温かい関係を感じることができました。

指導案の「振り返り」も、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、「子どもを主語」にして明記されています。これからも、「振り返り」の在り方を研修などで協議することで、本時の「ねらい」との

連動や評価規準が明確になり、授業力の向上がより図られると思いました。



NO.288 2021年9月 明治小学校

考える子

自分の考えの根拠をもつために、教科書や資料を読む。自分の考えを広げるために、友達の影響を受け入れる。



NO.289 2021年9月 明治小学校

助け合う子

演示実験の観察の観察。友達の「つぶやき」に笑顔でうなずく。何でも言える学級では、新たな発見がある。



NO.290 2021年9月 明治小学校

たくましい子

手を挙げて発表するのは勇気がいる。でも、聴いてくれる友達がいるから挑戦できる。



NO.291 2021年9月 明治小学校

思いやり

きちんとそろえてくれて、ありがとう。きみのこころづかいがわかって、うれしいよ。(本校のトイレの掲示物から)